

# (仮称)伏古本町・札苗地区再編小学校新築ほか工事基本設計

住民説明会

2026/1/20

## はじめに

札幌市立伏古小学校は、昭和54年度に開校。増加する児童数に対応するために伏古小学校の通学区域を再編し、昭和61年度に札幌市立東苗穂小学校を開校。しかし両校共に、少子化の影響により、児童数が減少傾向にあります。こうした状況を踏まえ、伏古小学校敷地において伏古小学校と東苗穂小学校を再編し、新設校を設置します。再編により小規模化から生じる課題を解決するとともに、学校教育環境の改善を目指します。

## 計画地

住所:札幌市東区伏古8条5丁目2-1  
敷地面積:13,170m<sup>2</sup>  
用途地域:第二種中高層住居専用地域



【通学区域図】

## 通学区域

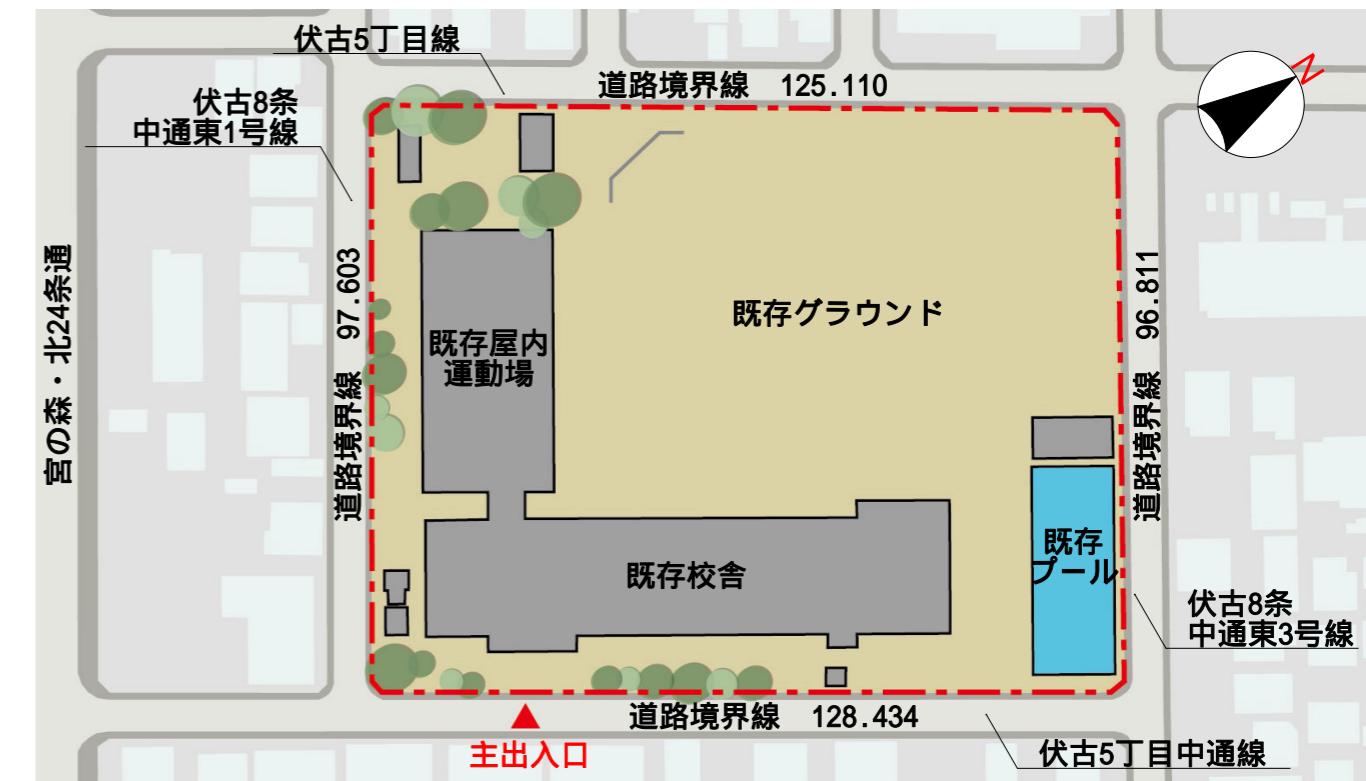
東区	北24条東21丁目(3番～7番) 北26条東22丁目 伏古8条1丁目～5丁目 <sup>1</sup> 東苗穂3条1丁目～3丁目 <sup>2</sup> 東雁来3条1丁目 <sup>3</sup> 東雁来町(55番地～60番地、64番地～73番地、81番地～84番地)	北24条東22丁目 伏古6条2丁目～5丁目 <sup>1</sup> 伏古9条1丁目～5丁目 <sup>2</sup> 東苗穂4条1丁目～3丁目 <sup>3</sup> 東雁来4条1丁目 <sup>3</sup>	北25条東22丁目 伏古7条2丁目～5丁目 <sup>1</sup> 伏古10条1丁目～5丁目 <sup>2</sup> 東苗穂5条1丁目～3丁目 <sup>3</sup> 東雁来5条1丁目 <sup>3</sup>
----	--	---	--

## 周辺道路

北側:札幌市道 伏古8条中通東3号線 幅員8.00m  
東側:札幌市道 伏古5丁目中通線 幅員8.00m  
南側:札幌市道 伏古8条中通東1号線 幅員8.00m  
西側:札幌市道 伏古5丁目線 幅員8.00m

## 周辺の状況

敷地外周部は4面とも道路に面しており、各道路幅員は8m程度です。学校の北側には、中高層のマンションが接続し、全体的に戸建て住宅・共同住宅が広がっています。南側は、幹線道路である宮の森・北24条通が位置していますが、学校周辺の通行車両は比較的少ない状況です。一方で、敷地沿いの歩道幅が狭いことや、排雪状況も十分ではないことから、登下校時の安全確保の面で課題がある環境です。



【既存建物配置】

## 現況敷地及び建物

- 現在の校舎は昭和54年に鉄筋コンクリート造地上4階建てで建設し、屋内運動場は渡り廊下で接続しています。
- 校舎は敷地南側、プールは敷地東側、グラウンドは敷地北側に位置しています。
- 校舎の主出入口は南側となっています。
- 主出入口面以外には、フェンスや擁壁が設置されており、敷地境界で大きな高低差が存在する箇所があります。
- グラウンドは、流域貯留浸透施設( )として整備しています。

流域貯留浸透施設: グラウンドを部分的に掘り下げ、敷地内に降った雨水を一時的に貯留し、一度に川に流れ込まないようにすることで洪水を防ぐ施設

# (仮称)伏古本町・札苗地区再編小学校新築ほか工事基本設計 住民説明会

## 校舎及び屋内運動場の改築について

- 伏古小学校と東苗穂小学校の再編に伴い、伏古小学校の敷地に校舎・屋内運動場・児童会館(計8,247m<sup>2</sup>)を改築します。
- 事業全体の工期短縮及び建設コスト削減のため、仮設校舎を必要としない既存グラウンド部分に改築校舎を建て替える計画を基本とします。
- 新校舎及び新屋内運動場の完成後、既存校舎及び既存屋内運動場を解体します。
- 既存プール棟は、解体する計画とし、新たな整備は行いません。

## 施設計画概要

### 既存施設

- 校舎 : 約6,450m<sup>2</sup>
- 屋内運動場 : 約 970m<sup>2</sup>
- プール棟 : 約 620m<sup>2</sup>

### 改築施設

- 校舎 : 6,429m<sup>2</sup>
- 屋内運動場 : 1,368m<sup>2</sup>
- 児童会館 : 450m<sup>2</sup>

## 整備諸室

### 校舎棟

- 普通教室 : 13教室
- 特別支援学習室 : 5教室+プレイルーム
- 特別教室 : 7教室(理科室、家庭科室、図工室、第1音楽室、第2音楽室、図書室、教育相談室)
- 余裕教室 : 3教室(特別活動室、生活科室、会議室)
- 多目的室 : 3教室(一般、ICT対応、少人数対応)
- 管理諸室 : 職員室、校長室、印刷室、保健室、用務員室、職員更衣室(男女別)、教材室、物品庫、除雪機置場等
- その他 : 昇降口、PTA室、郷土資料室、備蓄庫、ポンプ室、機械室、給食室、配膳車置場、エレベーター、トイレ(男子用、女子用、共用、多目的、職員用)

### 屋内運動場

- アリーナ、器具庫、更衣室(男女別)、体育準備室、開放用玄関、指導員控室

### 屋外環境施設

- 教材園、グラウンド用物置
- 児童会館
- 事務室、集会室、遊戯室(プレイルーム)、クラブ室、多目的ホール

## 配置計画のポイント

「小学校施設整備指針(文部科学省大臣官房文教施設企画・防災部)」、「(仮称)伏古本町・札苗地区再編小学校新築ほか工事基本計画」及び敷地の周辺環境や現状建物配置等から、施設配置計画を進めるための前提条件を整理します。



### 1) 安心・安全で機能的な学校

- 給食運搬車、管理車両の動線と児童の動線を分離すると共に歩道の安全確保を行います。
- 屋内運動場は緊急避難施設としての機能性に配慮します。



### 2) 周辺環境との調和

- 周辺環境への日影を検討し、北側に低層を配置した校舎とします。
- 普通教室及び特別支援学習室は日照に配慮し、南面・東面から採光可能な配置とします。
- 伏古本町地区に調和する校舎デザインとします。



### 3) 屋外環境

- グラウンドは最大限の面積を確保します。
- 流域貯留浸透施設を設置します。
- 十分な数の施設利用者用の駐車場を整備します。



### 4) 経済性

- 仮設校舎の有無、工事規模、階数など、経済性に配慮した配置とします。
- 与条件を満たすコンパクトな計画とします。



### 5) 工期・施工計画

- 児童の学習、活動への影響が最小限となるよう配慮した工期、施工計画とします。
- 工事中の児童への安全性を確保した工期、施工計画とします。

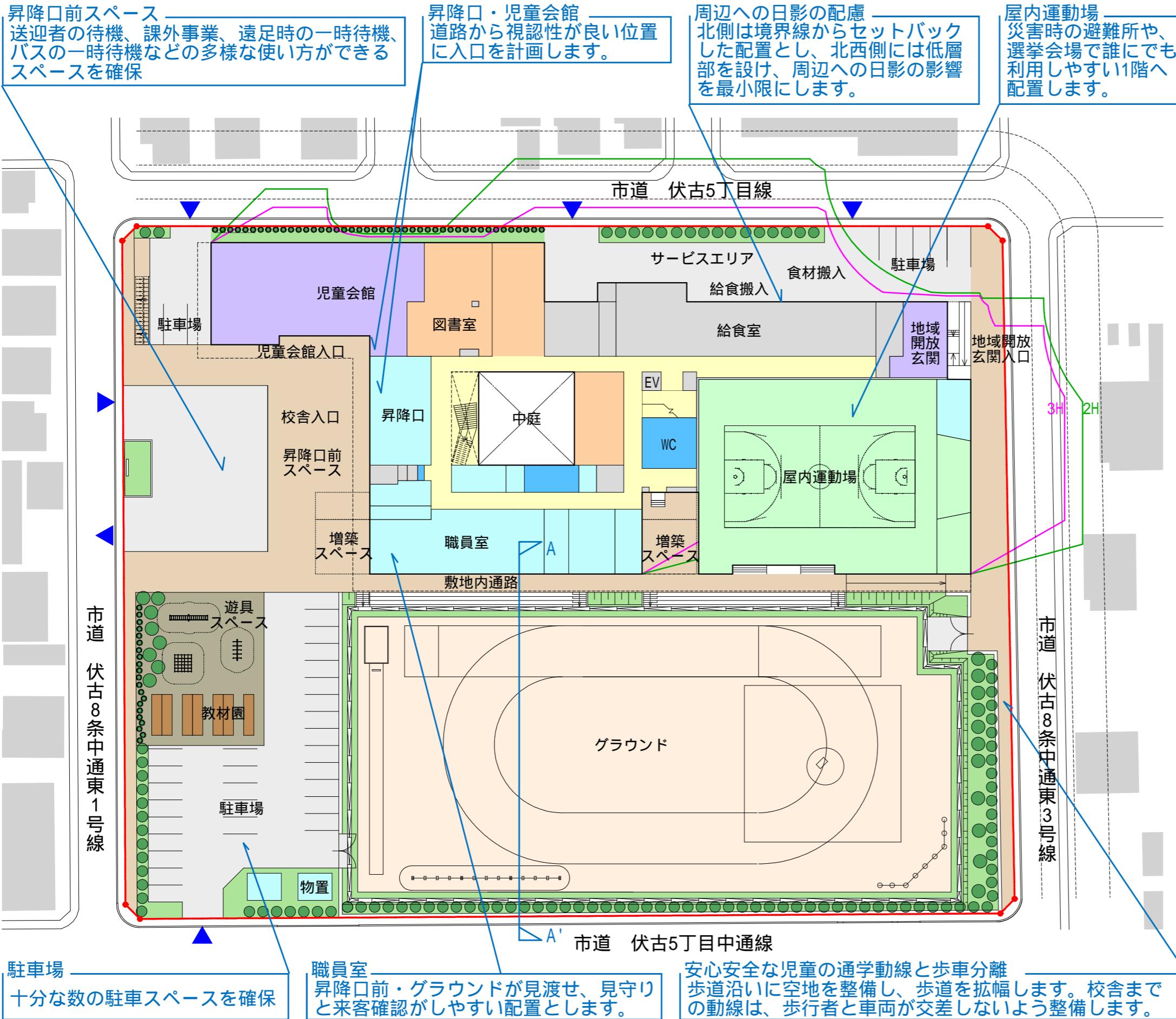
## 概略工程表

### R9年度

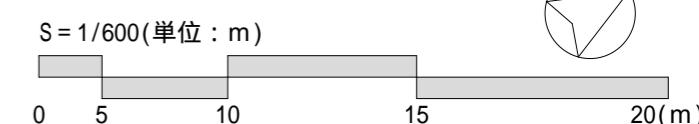
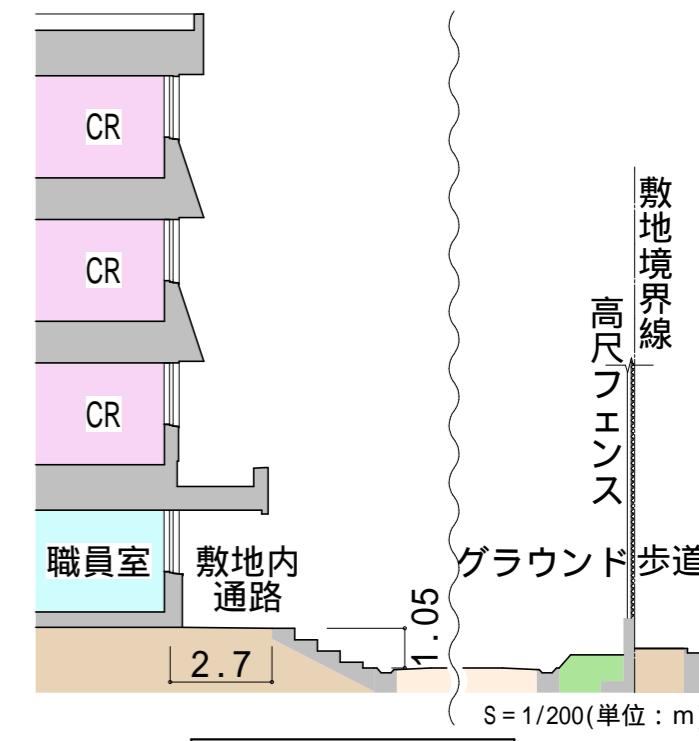
3	4	R10年度	4	R11年度	4	R12年度	4	R13年度	4	R14年度
		【フェーズ1】 既存プール解体		【フェーズ2】 新設校舎建設		学校引っ越し 期間想定		既存校舎・既存屋運解体・物置新設		グラウンド整備
		7ヶ月		22ヶ月				15ヶ月		12ヶ月
								開校(R13年4月)		
								新設校舎使用開始(R12年8月)		
									グラウンド使用不可期間 5年1ヶ月	

本資料に示す概略工程表は配置・平面の検討において想定したものであり、改築工事の事業スケジュールを確定するものではありません。  
整備諸室について今後の検討で一部変更となる可能性があります。

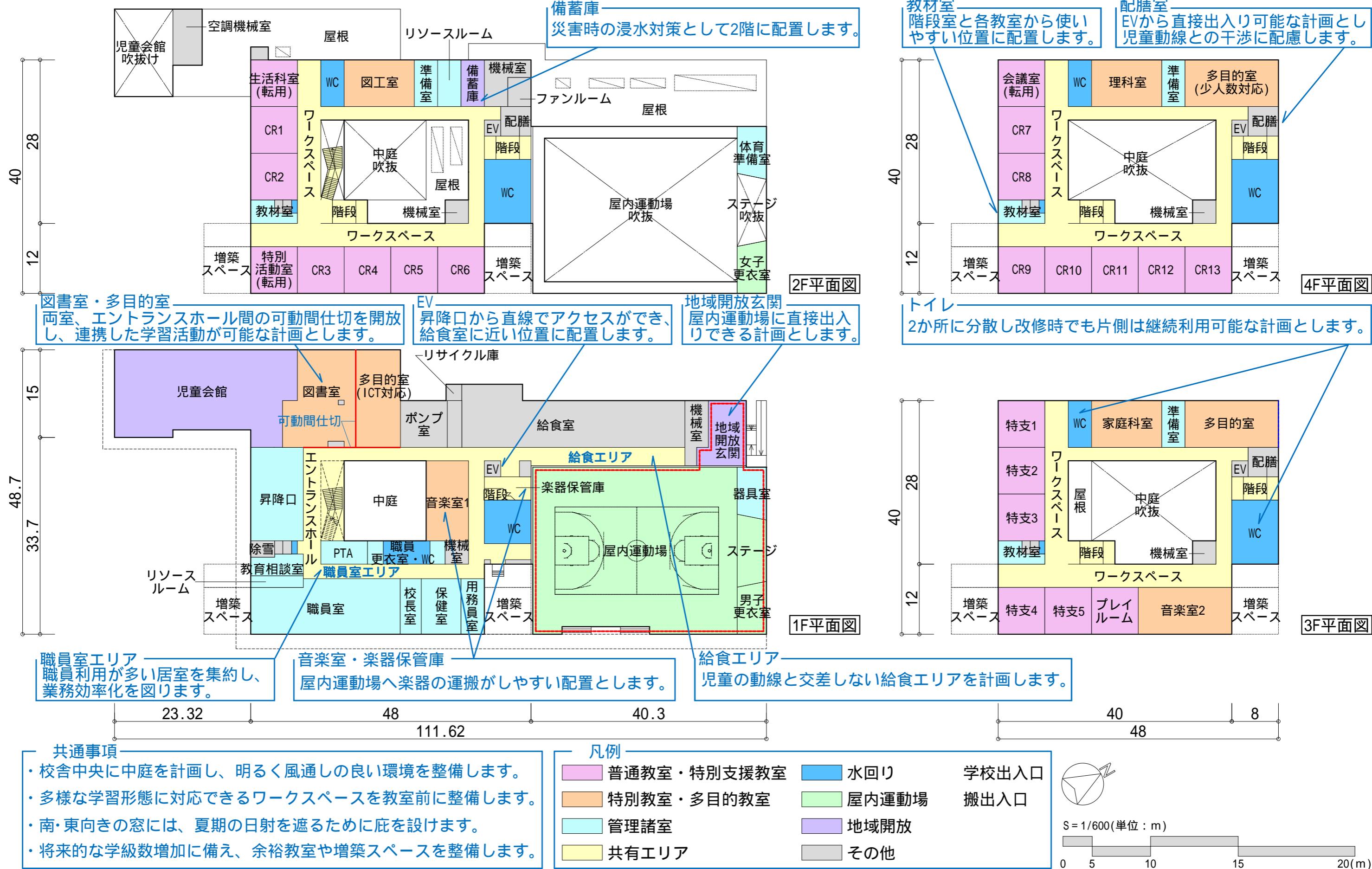
# (仮称)伏古本町・札苗地区再編小学校新築ほか工事基本設計 住民説明会



凡例	
	普通教室・特別支援教室
	特別教室・多目的教室
	管理諸室
	共有エリア
	歩行者経路
	水回り
	車両経路
	屋内運動場
	地域開放
	その他
	学校出入口
	車両出入口
	搬出入口



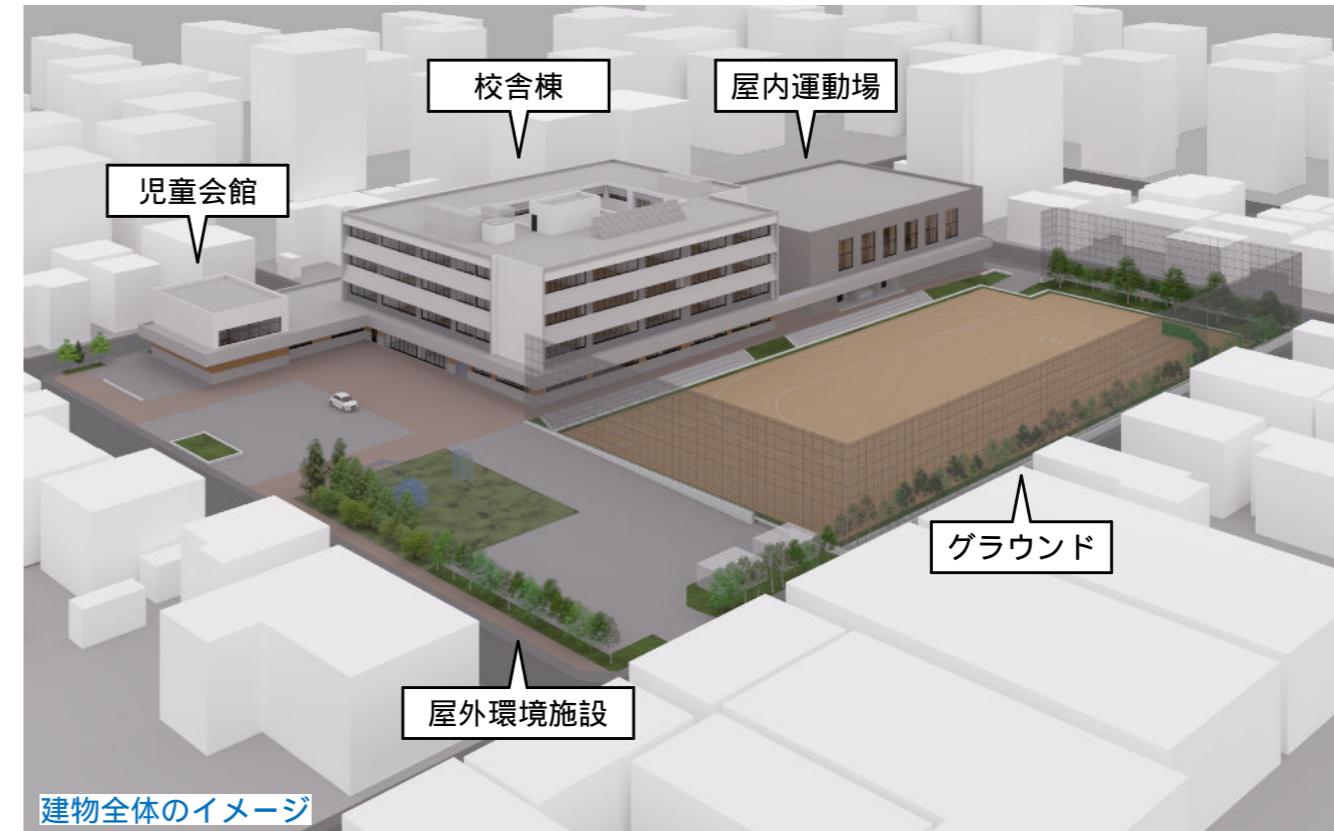
# (仮称)伏古本町・札苗地区再編小学校新築ほか工事基本設計 住民説明会



本資料は基本的な配置、平面の関係性を示すものであり、詳細の設計を踏まえ変更する可能性があります。

## (仮称)伏古本町・札苗地区再編小学校新築ほか工事基本設計 住民説明会

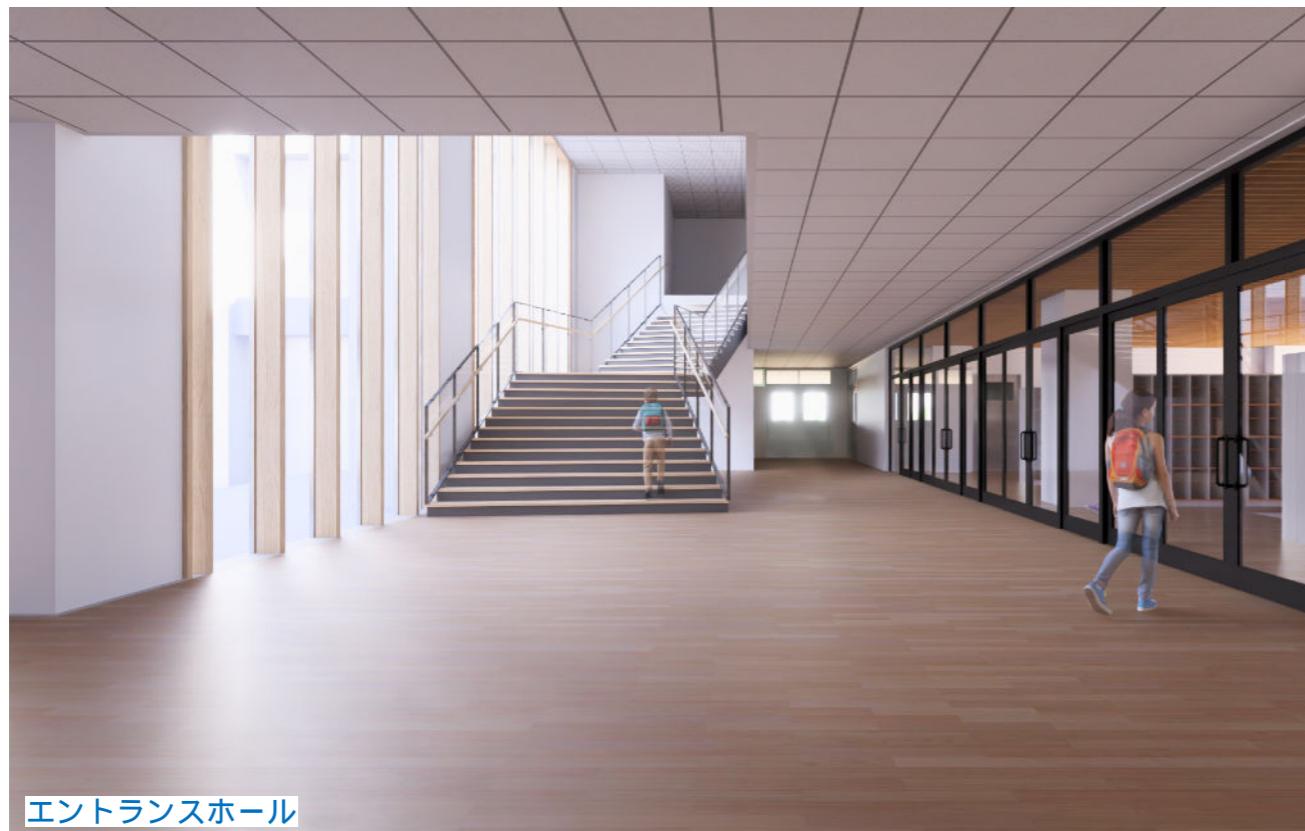
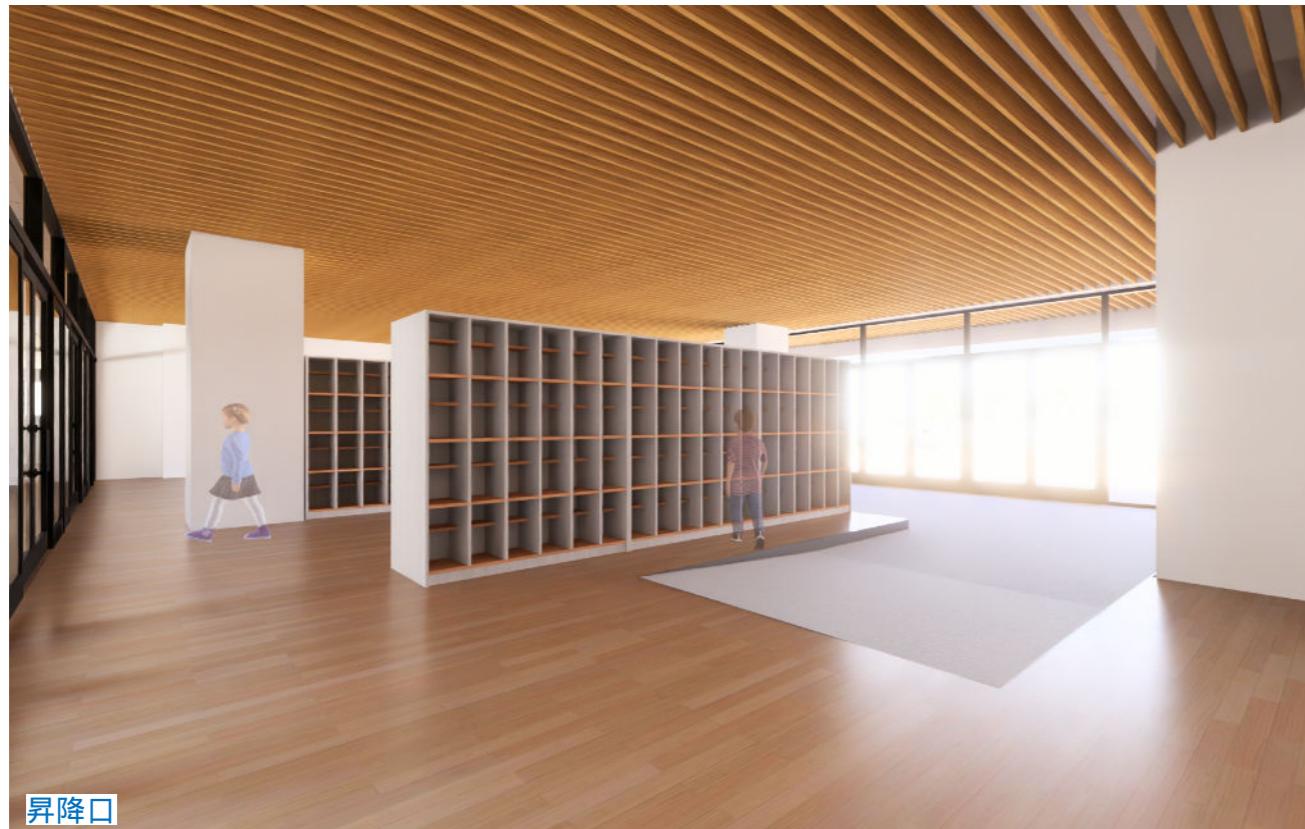
### 完成イメージ図



イメージ図のため、実際と異なる場合があります。

## (仮称)伏古本町・札苗地区再編小学校新築ほか工事基本設計 住民説明会

### 内観イメージ図



注)イメージ図のため、実際と異なる場合があります。